

横浜市南部地域猛禽類調査中間とりまとめ（その８）の概要

平成１９年１０月

横浜市南部地域猛禽類調査検討会

1. 検討会の概要

(1) 概要

神奈川県より横浜市南部地域におけるオオタカの生息に関する情報提供があり、事業者として、今後の横環南の本格的な工事に向けより慎重を期すために、平成12年2月から調査を開始しました。

また、平成12年8月に「横浜市南部地域猛禽類調査検討会（委員長：柴田敏隆 神奈川県自然保護協会理事）」を設置して生息・繁殖状況調査等の調査の結果を踏まえ、保全対策について検討を行っています。

表 1-1 検討会名簿（平成19年10月現在）

	氏 名	所 属
委員長	柴田 敏隆	（特非）神奈川県自然保護協会理事
委 員	柳澤 紀夫	（財）日本鳥類保護連盟理事
	川手 隆生	神奈川野生生物研究会副代表
	安田 泰二	国土交通省横浜国道事務所長
	八木 茂樹	NEXCO東日本 横浜工事事務所長

(2) 検討内容

第12回検討会を平成19年10月3日に開催し、以下の検討を行いました。

- ・ 平成19年の生息・繁殖状況調査等の結果について

2. 平成19年の生息・繁殖状況調査結果

(1) 現地調査の期間

表 2-1 調査の項目と期間

調査項目	調査期間	備考
生息状況調査	3・5・7月	2日間/月
繁殖状況調査	2～7月	

(2) 生息状況調査

横浜市南部地域の現地調査で毎月ともオオタカの飛翔を確認しました。

(3) 繁殖状況調査

平成13年より毎年営巣が確認されている巣（1箇所）において繁殖を確認しました。

また、今年は、3羽の巣立ちの確認をしました。

3.まとめ

今期も、生息・繁殖状況調査を行い、各調査結果の蓄積並びに解析を行いました。今後も道路と自然環境との調和に十分配慮した取り組みを進めるとともに、必要な調査及びこれまで検討してきた保全対策を実施していきます。

オオタカの飛翔状況・営巣地等に関する情報の公表は、巣の位置が限定され、密猟のほか、カメラマン、観察者等多数の人々が営巣地の近辺に出入りを繰り返すこと、オオタカの繁殖を阻害する恐れがあるため差し控えさせていただきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

以 上